

令和3年社会生活基本調査

詳細行動分類による生活時間に関する結果

結果の概要

目 次

結果の解説	1
付録	
付1 令和3年社会生活基本調査の概要	18
付2 用語と分類	22

令和4年12月14日



総務省統計局

結果の解説

令和3年社会生活基本調査は、調査票A及び調査票Bの2種類の調査票を用い、全国の10歳以上の約19万人を対象に2021年10月に実施した。今回公表する結果は、このうち約1万人を対象とした調査票Bに基づく詳細行動分類による生活時間の配分に関するものである。

生活時間の配分に関する事項は、2021年10月16日から24日までのうち調査区ごとに指定された連続する2日間（生活時間の指定日）について調査した。

調査票Aに基づく結果（8月31日公表）では、調査票にあらかじめ記載された20種類の行動分類によるものであったが、今回公表する調査票Bに基づく結果は、調査票に記入者自身が個々の行動を日誌のように記入したものを詳細な行動分類（小分類90区分）に分類し、集計したものである。

また、詳細行動分類による生活時間に関する結果は、HETUS（欧州統一生活時間調査）の行動分類と比較が可能なものとなっている。

－ 主な用語 －

- 総平均時間……該当する種類の行動をしなかった人を含む全員の平均時間
- 行動者平均時間……該当する種類の行動をした人のみについての平均時間
- 行動者率……該当する種類の行動をした人の割合（％）
- 詳細行動分類……調査票Bの集計においては、行動の種類を大分類6、中分類22、小分類90に区分している。大分類の内容は以下のとおり。
 - ・ 有償労働……収入を目的とする仕事。副業として行った仕事や通勤を含む。
 - ・ 無償労働……家事、育児、ボランティア活動など収入を目的としない仕事
 - ・ 学業、学習・自己啓発・訓練……学校で行う学業や自由時間に行う学業、学習・自己啓発・訓練。通学を含む。
 - ・ 個人的ケア……睡眠、入浴などの身体的ケア、食事などに関する行動
 - ・ 自由時間……交際、趣味、スポーツ、テレビなど各人が自由に使える時間における行動
 - ・ その他……上記以外の行動

－ 利用上の注意 －

- ・ 統計表等の数字は、表章単位未満の位で四捨五入していること、また、総数に「不詳」の数を含むことから、総数と内訳を合計した数値とは必ずしも一致しない。
- ・ 統計表中「0.0」及び「0.00」は、集計した数値が単位に満たないものである。
- ・ 統計表中「－」は該当数字のない箇所、「…」はサンプルサイズが10未満で、結果精度の観点から表章していない箇所である。

注) 詳細行動分類による1日の生活時間の配分の調査時期は、新型コロナウイルス感染症がいわゆる第5波として拡大した後、各地に順次発出されていた「新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言」等が2021年9月末をもって全ての地域で解除された直後となる。

- 1 同時行動**.....3
- (1) 同時行動はスマートフォンなどの「コンピュータの使用」の行動者率が最も高く、初めて「テレビ」を上回る
- (2) 食事時間における同時行動の行動者率は、2016年はいずれも「テレビ」が高かったが、2021年は昼食時及び軽飲食時において「コンピュータの使用」が高い
- 2 無償労働**.....5
- (1) 無償労働時間は家事時間のうち「食事の管理」の男女差が最も大きい
- (2) 家事時間に占める割合は、男女共に「食事の管理」が最も大きい
- (3) 6歳未満の子供を持つ夫・妻の無償労働時間は、家事時間では「食事の管理」、育児時間では「乳幼児の身体の手入れと監督」における夫・妻の差が大きい
- (4) 6歳未満の子供を持つ夫・妻の育児時間は、共に「乳幼児の身体の手入れと監督」が最も長い
- 3 有償労働（副業）**8
- (1) 「副業関連」の行動者平均時間は3時間15分
- (2) 「正規の職員・従業員以外」で副業を行った割合は、「正規の職員・従業員」の2倍
- (3) 副業を行った人の割合は、「農林漁業従事者」で最も高い
- 4 子供と一緒にいた時間**10
- (1) 6歳未満の子供がいる世帯の夫・妻が子供と一緒にいた時間は、土曜日及び日曜日で夫は増加、妻は減少
- 5 行動の場所**12
- (1) 自宅にいた時間は50分の増加。特に、25～29歳では増加幅が最も大きく1時間58分の増加
- (2) 土曜日、日曜日に自宅にいた15歳以上の人の割合は午前中の一部を除き全ての時間帯で5割を上回っている
- 6 スマートフォン・パソコンなどの使用**15
- (1) スマートフォン・パソコンなどの使用者率は25～34歳で85.9%と最も高く、平均使用時間も25～34歳で5時間47分と最も長い
- (2) 「移動中」のスマートフォンの使用者率は13.4%、パソコンなどの使用者率は1.1%と使用者率に差
- (3) スマートフォン・パソコンなどの使用者率は「自由時間」が最も高い

1 同時行動

(1) 同時行動はスマートフォンなどの「コンピュータの使用」の行動者率が最も高く、初めて「テレビ」を上回る

1日のうち主にしていた行動（主行動）とは別に同時にしていた他の行動（同時行動）を行った人の割合（行動者率）を同時行動の種類別に週全体平均（以下「週全体」という。）で見ると、スマートフォンなどの「コンピュータの使用」が32.4%と最も高く、次いで「テレビ」が28.0%などとなっている。2016年と比べると、「テレビ」は14.9ポイントの低下となっている一方、「コンピュータの使用」は10.9ポイントの上昇となっており、「コンピュータの使用」が初めて「テレビ」を上回った。このほか、インターネットでの閲覧も含む「新聞・雑誌」や有料配信コンテンツをテレビで見る場合なども含まれている「ビデオ・DVD」も上昇となっている。（表1-1）

表1-1 同時行動の種類¹⁾別行動者率（2016年、2021年）一週全体

同時行動の種類	2016年 (%)	2021年 (%)	増減 (ポイント)
コンピュータの使用	21.5	32.4	10.9
テレビ	42.9	28.0	-14.9
衣類等の手入れ	10.0	10.1	0.1
新聞・雑誌	7.6	9.4	1.8
ビデオ・DVD	1.6	5.2	3.6

(2) 食事時間における同時行動の行動者率は、2016年はいずれも「テレビ」が高かったが、2021年は昼食時及び軽飲食時において「コンピュータの使用」が高い

主行動の種類別に同時行動の行動者率をみると、「有償労働」と同時に行っていた行動はスマートフォンなどの「コンピュータの使用」で5.9%となっている。食事時間における同時行動の行動者率は、2016年はいずれも「テレビ」が最も高かったが、2021年は昼食時及び軽飲食時で「コンピュータの使用」が最も高くなっている。特に、昼食時に「コンピュータの使用」をした人の割合が12.2%と2016年から4.2ポイントの上昇となっている。（表1-2）

1) 2021年の同時行動の行動者率が5%以上の同時行動（小分類）を掲載
(参考：詳細行動分類について)

- ・コンピュータの使用：パソコンやスマートフォンなどで行う情報検索等を含み、コンピュータの使用であっても電子メールの作成など他の分類に属するものを除く。
- ・衣類等の手入れ：衣類の洗濯、アイロンがけ、ボタンの付け替え等
- ・ビデオ・DVD：有料配信のコンテンツをテレビで見る、動画共有サイトで動画を視聴する場合も含む。

表 1 - 2 主行動、同時行動の種類¹⁾ 別行動者率 (2016 年、2021 年) 一週全体

主行動の種類	2016年					2021年				
	同時行動を伴う行動者率	1位		2位		同時行動を伴う行動者率	1位		2位	
		同時行動の種類	行動者率	同時行動の種類	行動者率		同時行動の種類	行動者率	同時行動の種類	行動者率
総数	69.6	テレビ	42.9	コンピュータの使用	21.5	66.0	コンピュータの使用	32.4	テレビ	28.0
有償労働	10.5	コンピュータの使用	4.3	CD・音声ファイル	1.5	10.6	コンピュータの使用	5.9	新聞・雑誌 CD・音声ファイル	0.9
通勤	7.4	コンピュータの使用	4.0	CD・音声ファイル	1.3	8.0	コンピュータの使用	5.4	新聞・雑誌 CD・音声ファイル	0.7
無償労働	27.3	テレビ	13.8	衣類等の手入れ	5.4	26.0	テレビ	9.3	コンピュータの使用	8.1
食事の管理	17.2	テレビ	10.1	衣類等の手入れ	3.8	15.2	テレビ	7.1	衣類等の手入れ	3.8
住まいの手入れ・整理	7.5	テレビ	2.6	衣類等の手入れ コンピュータの使用	1.3	6.8	コンピュータの使用	2.2	テレビ	1.4
衣類等の手入れ	7.6	テレビ	3.7	住まいの手入れ・整理	0.9	6.4	テレビ	2.2	コンピュータの使用	1.5
個人的ケア	56.0	テレビ	38.6	コンピュータの使用	13.8	51.4	テレビ	24.9	コンピュータの使用	22.1
入浴(自分自身や家族等が行うもの)	3.4	テレビ	1.5	衣類等の手入れ	0.7	6.5	コンピュータの使用	3.3	テレビ	0.7
身の回りの用事(自分自身や家族等が行うもの)	14.6	テレビ	8.0	衣類等の手入れ	1.9	12.0	テレビ	3.9	衣類等の手入れ	2.2
朝食	27.9	テレビ	19.0	コンピュータの使用	3.1	23.3	テレビ	11.5	コンピュータの使用	5.8
昼食	25.2	テレビ	12.6	コンピュータの使用	8.0	24.9	コンピュータの使用	12.2	テレビ	8.7
夕食	31.5	テレビ	24.6	コンピュータの使用	3.8	26.9	テレビ	16.9	コンピュータの使用	6.6
軽飲食	8.9	テレビ	3.9	コンピュータの使用	2.7	7.2	コンピュータの使用	2.9	テレビ	2.4
自由時間	28.8	テレビ	7.5	軽飲食	4.3	27.1	コンピュータの使用	5.4	テレビ	4.7
テレビ	16.8	軽飲食	2.8	新聞・雑誌	2.7	17.6	コンピュータの使用 新聞・雑誌	4.0	ゲーム	2.7

1) 2021 年の同時行動を伴う主行動の行動者率が 5%以上の主行動(大分類、小分類)を掲載
(参考: 詳細行動分類について)

- ・食事の管理: 料理、食器洗い等
- ・住まいの手入れ・整理: 自宅の部屋の掃除、買った物の整理等
- ・CD・音声ファイル: 音楽CDを聞く、スマートフォンで音楽を聞く等
- ・ゲーム: スマートフォン・家庭用ゲーム機によるゲーム、将棋等

2 無償労働

(1) 無償労働時間は家事時間のうち「食事の管理」の男女差が最も大きい

無償労働時間を男女別にみると、男性が1時間19分、女性が3時間56分となっており、男女間で2時間37分の差がみられる。男女差の内訳（小分類）をみると、家事時間のうち「食事の管理」の1時間4分が最も大きく、次いで「衣類等の手入れ」が23分などとなっている。

（表2-1）

表2-1 男女別無償労働時間（2016年、2021年）一週全体

	男			女			2021年 男女差
	2016年	2021年	増減	2016年	2021年	増減	
無償労働	1.16	1.19	0.03	4.11	3.56	-0.15	-2.37
家事	0.40	0.44	0.04	2.57	2.49	-0.08	-2.05
食事の管理	0.12	0.14	0.02	1.28	1.18	-0.10	-1.04
園芸	0.09	0.07	-0.02	0.07	0.07	0.00	0.00
住まいの手入れ・整理	0.10	0.11	0.01	0.35	0.31	-0.04	-0.20
衣類等の手入れ	0.03	0.04	0.01	0.30	0.27	-0.03	-0.23
その他	0.05	0.07	0.02	0.16	0.26	0.10	-0.19
育児	0.07	0.07	0.00	0.25	0.22	-0.03	-0.15
乳幼児の身体の世話と監督	0.01	0.02	0.01	0.10	0.09	-0.01	-0.07
乳幼児と遊ぶ	0.02	0.02	0.00	0.05	0.04	-0.01	-0.02
子供の送迎移動	0.01	0.01	0.00	0.04	0.04	0.00	-0.03
その他	0.02	0.02	0.00	0.06	0.04	-0.02	-0.02
買い物・サービスの利用	0.17	0.18	0.01	0.30	0.31	0.01	-0.13
家事関連に伴う移動	0.08	0.08	0.00	0.14	0.12	-0.02	-0.04
ボランティア活動関連	0.05	0.02	-0.03	0.04	0.03	-0.01	-0.01

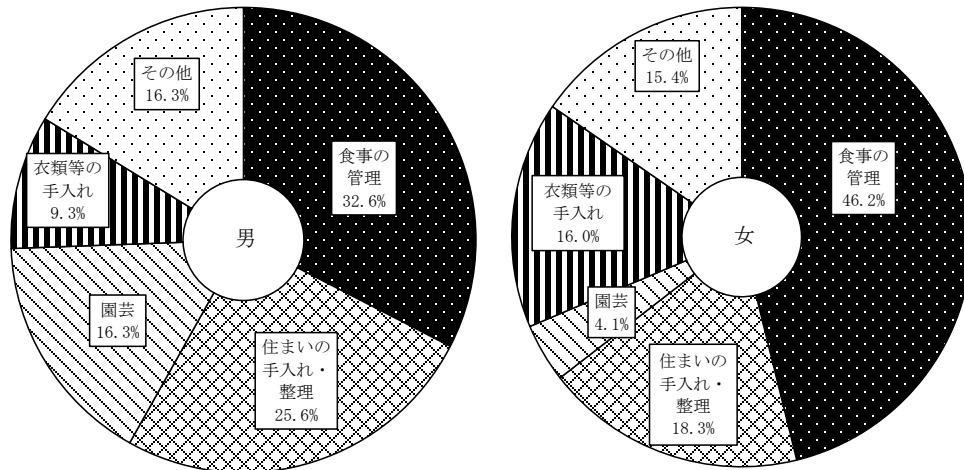
(2) 家事時間に占める割合は、男女共に「食事の管理」が最も大きい

家事時間の内訳（小分類）について男女別にみると、男性は「食事の管理」が32.6%、「住まいの手入れ・整理」が25.6%、「園芸」が16.3%などとなっている。また、女性は「食事の管理」が46.2%、「住まいの手入れ・整理」が18.3%、「衣類等の手入れ」が16.0%などとなっており、男女共に、「食事の管理」が占める割合が最も大きい。（図2-1）

（参考：詳細行動分類について）

・乳幼児の身体の世話と監督：就学前の子供に食事を与える、公園で遊んでいるのを見守る等

図2-1 男女別家事時間の構成比（2021年）一週全体



(3) 6歳未満の子供を持つ夫・妻の無償労働時間は、家事時間では「食事の管理」、育児時間では「乳幼児の身体の手入れと監督」における夫・妻の差が大きい

夫婦と子供の世帯のうち、6歳未満の子供を持つ夫・妻の無償労働時間の内訳（小分類）をみると、いずれも夫より妻の方が長くなっており、特に、家事時間では「食事の管理」、育児時間では「乳幼児の身体の手入れと監督」における夫・妻の差が大きくなっている。（表2-2）

表2-2 6歳未満の子供を持つ夫・妻の無償労働時間（2016年、2021年）一週全体、夫婦と子供の世帯

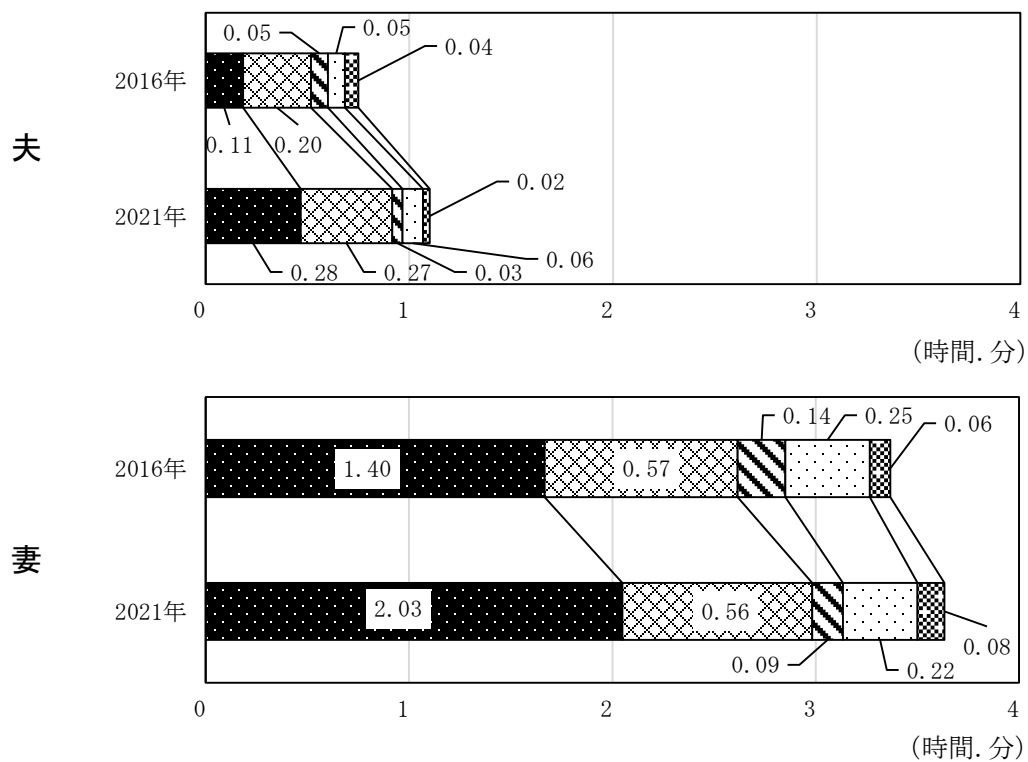
	夫			妻			2021年 夫妻差
	2016年	2021年	増減	2016年	2021年	増減	
無償労働	1.35	2.09	0.34	8.00	7.47	-0.13	-5.38
家事	0.22	0.37	0.15	3.42	3.22	-0.20	-2.45
食事の管理	0.08	0.14	0.06	1.57	1.25	-0.32	-1.11
住まいの手入れ・整理	0.06	0.11	0.05	0.44	0.32	-0.12	-0.21
衣類等の手入れ	0.04	0.05	0.01	0.41	0.36	-0.05	-0.31
その他	0.03	0.06	0.03	0.21	0.52	0.31	-0.46
育児	0.45	1.06	0.21	3.21	3.37	0.16	-2.31
乳幼児の身体の手入れと監督	0.11	0.28	0.17	1.40	2.03	0.23	-1.35
乳幼児と遊ぶ	0.20	0.27	0.07	0.57	0.56	-0.01	-0.29
子供の付き添い等	0.05	0.03	-0.02	0.14	0.09	-0.05	-0.06
子供の送迎移動	0.05	0.06	0.01	0.25	0.22	-0.03	-0.16
その他	0.04	0.02	-0.02	0.06	0.08	0.02	-0.06
買い物・サービスの利用	0.17	0.18	0.01	0.35	0.33	-0.02	-0.15
家事関連に伴う移動	0.08	0.08	0.00	0.19	0.13	-0.06	-0.05
ボランティア活動関連	0.03	0.01	-0.02	0.03	0.01	-0.02	0.00

(4) 6歳未満の子供を持つ夫・妻の育児時間は、共に「乳幼児の身体の手世と監督」が最も長い

夫婦と子供の世帯のうち、6歳未満の子供を持つ夫・妻の育児時間の内訳（小分類）をみると、夫は「乳幼児の身体の手世と監督」が28分、「乳幼児と遊ぶ」が27分、「子供の送迎移動」が6分などとなっている。また、妻は「乳幼児の身体の手世と監督」が2時間3分、「乳幼児と遊ぶ」が56分、「子供の送迎移動」が22分などとなっており、夫妻共に「乳幼児の身体の手世と監督」の時間が最も長くなっている。

2016年と比べてみると、夫は「乳幼児の身体の手世と監督」が17分、「乳幼児と遊ぶ」が7分の増加、妻は「乳幼児の身体の手世と監督」が23分の増加などとなっている。（図2-2）

図2-2 6歳未満の子供を持つ夫・妻の育児時間（2016年、2021年）一週全体、夫婦と子供の世帯



■ 乳幼児の身体の手世と監督 ▨ 乳幼児と遊ぶ ▩ 子供の付き添い等 □ 子供の送迎移動 ▤ その他

3 有償労働（副業）

(1) 「副業関連」の行動者平均時間は3時間15分

有業者（15歳以上。以下同じ。）のうち、調査当日に「副業関連」の行動をした人の割合（行動者率）は0.7%で、その平均時間（行動者平均時間）は3時間15分となっている。（表3-1）

表3-1 男女別有償労働時間及び行動者率（2021年）－週全体、有業者

	総数			男			女		
	総平均時間 (時間.分)	行動者率 (%)	行動者平均時間 (時間.分)	総平均時間 (時間.分)	行動者率 (%)	行動者平均時間 (時間.分)	総平均時間 (時間.分)	行動者率 (%)	行動者平均時間 (時間.分)
有償労働	6.21	70.0	8.53	7.13	72.8	9.40	5.17	66.6	7.49
主な仕事関連	5.33	69.7	7.49	6.18	72.5	8.30	4.38	66.2	6.53
主な仕事	5.28	69.6	7.42	6.10	72.3	8.20	4.37	66.2	6.52
主な仕事中の移動	0.05	3.8	2.28	0.08	5.5	2.44	0.01	1.6	1.14
副業関連	0.01	0.7	3.15	0.01	0.7	2.57	0.02	0.8	3.40
副業	0.01	0.7	3.11	0.01	0.6	2.32	0.02	0.8	3.33
副業中の移動	0.00	0.1	1.42	0.00	0.1	3.13	0.00	0.1	0.53
通勤	0.42	53.8	1.17	0.48	56.1	1.23	0.35	51.0	1.08
その他の仕事関連	0.04	10.6	0.43	0.05	12.9	0.45	0.03	7.8	0.40
仕事中の休憩	0.04	10.6	0.43	0.05	12.9	0.45	0.03	7.7	0.40
求職活動	0.00	0.0	2.07	0.00	0.0	1.30	0.00	0.1	2.07

(2) 「正規の職員・従業員以外」で副業を行った割合は、「正規の職員・従業員」の2倍

雇用されている人について、「副業関連」の行動者率を雇用形態別にみると、「正規の職員・従業員」は0.5%なのに対して、「正規の職員・従業員以外¹⁾」は1.0%と「正規の職員・従業員」の2倍となっている。（表3-2）

表3-2 男女、従業上の地位、雇用形態別副業関連時間及び行動者率（2021年）－週全体、有業者

	総数			男			女		
	総平均時間 (時間.分)	行動者率 (%)	行動者平均時間 (時間.分)	総平均時間 (時間.分)	行動者率 (%)	行動者平均時間 (時間.分)	総平均時間 (時間.分)	行動者率 (%)	行動者平均時間 (時間.分)
有業者	0.01	0.7	3.15	0.01	0.7	2.57	0.02	0.8	3.40
雇用されている人	0.01	0.7	3.19	0.01	0.5	2.52	0.02	0.8	3.48
正規の職員・従業員	0.01	0.5	3.25	0.01	0.5	3.09	0.01	0.6	4.53
正規の職員・従業員以外	0.02	1.0	2.38	0.01	0.8	2.38	0.02	1.0	3.08
会社などの役員	0.00	0.1	2.15	0.00	0.1	2.15	-	-	-
雇人のある業主	0.01	1.3	0.45	-	-	-	0.02	4.9	0.45
雇人のない業主	0.01	1.1	1.39	0.02	1.8	1.39	-	-	-
自家営業の手伝い(家族従業者)	0.03	1.6	4.30	0.10	4.6	5.20	0.01	0.3	4.00
家庭内の賃仕事(内職)	-	-	-	-	-	-

1) 「正規の職員・従業員以外」は、「パート」、「アルバイト」、「契約社員」、「嘱託」、「労働者派遣事業所の派遣社員」及び「その他」の数値から算出

(3) 副業を行った人の割合は、「農林漁業従事者」で最も高い

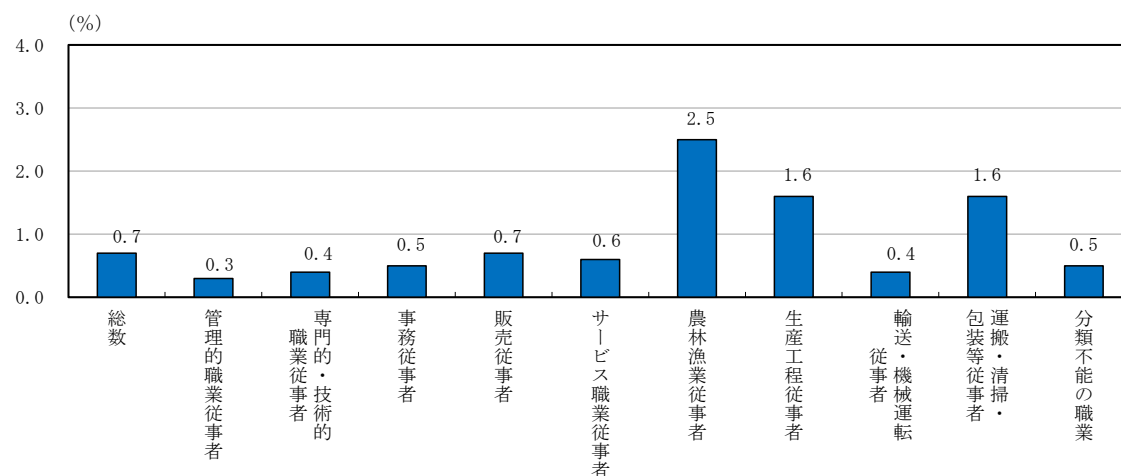
有業者について、「副業関連」の行動者率を職業別にみると、「農林漁業従事者」が 2.5%で最も高く、次いで「生産工程従事者」、「運搬・清掃・包装等従事者」が 1.6%などとなっている。

なお、「副業関連」の行動者平均時間は、「輸送・機械運転従事者」で長くなっている。(表 3-3、図 3-1)

表 3-3 職業別副業関連時間及び行動者率 (2021 年) 一週全体、有業者

	総平均 時間 (時間.分)	行動者率 (%)	行動者 平均時間 (時間.分)
総数	0.01	0.7	3.15
管理的職業従事者	0.01	0.3	2.45
専門的・技術的職業従事者	0.01	0.4	3.47
事務従事者	0.01	0.5	3.28
販売従事者	0.01	0.7	2.00
サービス職業従事者	0.01	0.6	2.39
保安職業従事者	-	-	-
農林漁業従事者	0.04	2.5	2.41
生産工程従事者	0.03	1.6	2.43
輸送・機械運転従事者	0.02	0.4	6.11
建設・採掘従事者	-	-	-
運搬・清掃・包装等従事者	0.03	1.6	2.41
分類不能の職業	0.01	0.5	5.09

図 3-1 職業別副業関連行動者率 (2021 年) 一週全体、有業者



4 子供と一緒にいた時間

(1) 6歳未満の子供がいる世帯の夫・妻が子供と一緒にいた時間は、土曜日及び日曜日で夫は増加、妻は減少

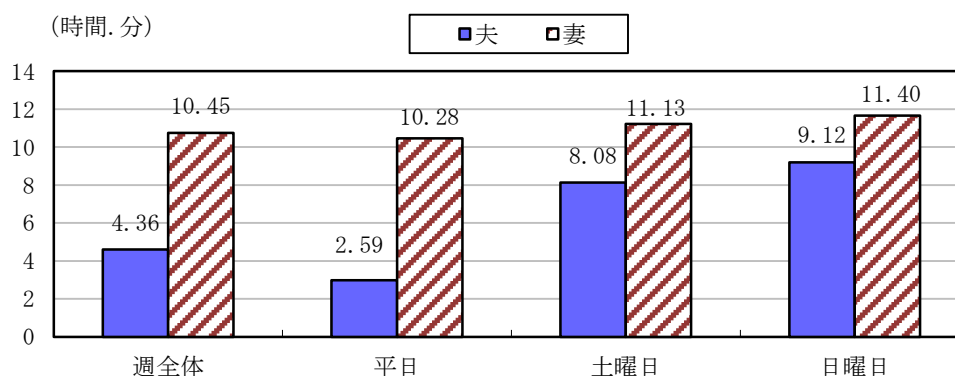
子供のいる世帯の夫・妻¹⁾について、子供と一緒にいた時間（睡眠及びうたたね中を除く。以下同じ。）をみると、夫が3時間1分、妻が5時間59分で、妻の方が2時間58分長くなっている。共働きか否か別にみると、「共働き世帯」の妻は「夫が有業で妻が無業の世帯」の妻よりも子供と一緒にいた時間が1時間55分短くなっている。（表4-1）

表4-1 末子の年齢、共働きか否か別夫・妻の子供と一緒にいた時間及び行動者率（2021年）一週全体、子供のいる世帯

		総数		うち共働き世帯		うち夫が有業で妻が無業の世帯	
		総平均時間 (時間.分)	行動者率 (%)	総平均時間 (時間.分)	行動者率 (%)	総平均時間 (時間.分)	行動者率 (%)
夫	総数	3.01	73.7	3.08	74.6	3.20	78.0
	うち末子が6歳未満	4.36	85.4	4.25	81.5	4.43	90.5
妻	総数	5.59	85.8	5.53	87.4	7.48	89.3
	うち末子が6歳未満	10.45	98.1	9.20	98.1	12.24	98.2

末子が6歳未満の世帯の夫・妻について、子供と一緒にいた時間を曜日別にみると、夫・妻共に平日に比べ土曜日及び日曜日が長くなっている。推移についてみると、夫は平日が横ばいで推移し、2016年から2021年にかけては土曜日及び日曜日で増加となっている。一方、妻は、土曜日及び日曜日は増加傾向で推移していたが、2016年から2021年にかけて減少に転じた。（図4-1、図4-2、表4-2）

図4-1 曜日別6歳未満の子供を持つ夫・妻の子供と一緒にいた時間（2021年）一週全体、子供のいる世帯



1) 「夫婦と子供の世帯」及び「夫婦、子供と親の世帯」の夫・妻

図4-2 曜日別6歳未満の子供を持つ夫・妻の子供と一緒にいた時間（2006年～2021年）－子供のいる世帯

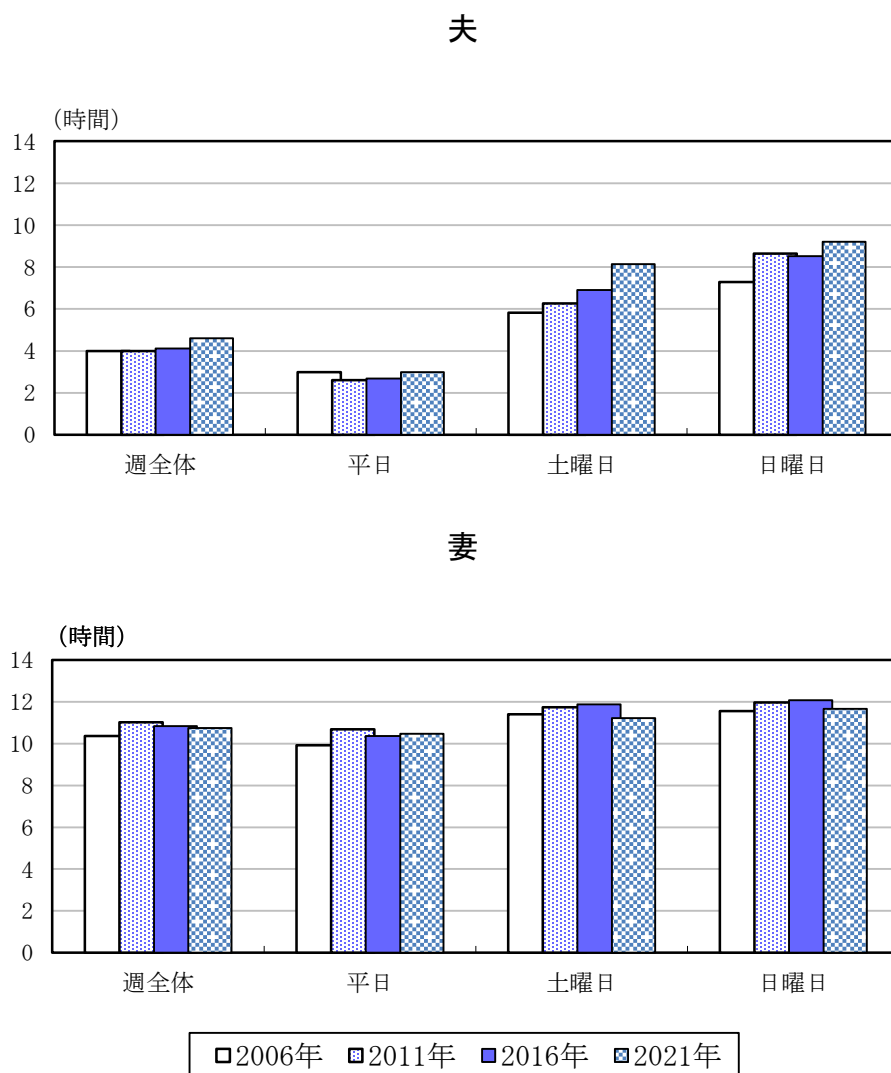


表4-2 曜日別6歳未満の子供を持つ夫・妻の子供と一緒にいた時間（2006年～2021年）－子供のいる世帯

	夫				妻			
	週全体	平日	土曜日	日曜日	週全体	平日	土曜日	日曜日
	(時間.分)				(時間.分)			
2006年	4.00	2.59	5.49	7.17	10.22	9.55	11.24	11.33
2011年	4.00	2.37	6.16	8.39	11.01	10.41	11.44	11.58
2016年	4.07	2.41	6.54	8.31	10.50	10.22	11.53	12.05
2021年	4.36	2.59	8.08	9.12	10.45	10.28	11.13	11.40

5 行動の場所

(1) 自宅にいた時間は50分の増加。特に、25～29歳では増加幅が最も大きく1時間58分の増加

行動の場所別の生活時間について2016年と比べると、自宅にいた時間が50分の増加となり、それ以外の場所は全て減少している。次に、年齢階級別に自宅にいた時間について2016年と比べてみると、75歳以上を除く全ての年齢階級で増加しており、特に25～29歳では増加幅が最も大きく、1時間58分の増加となっている。一方、移動中については、全ての年齢階級で減少している。(図5-1、表5-1、図5-2)

図5-1 行動の場所別生活時間(2016年、2021年)一週全体

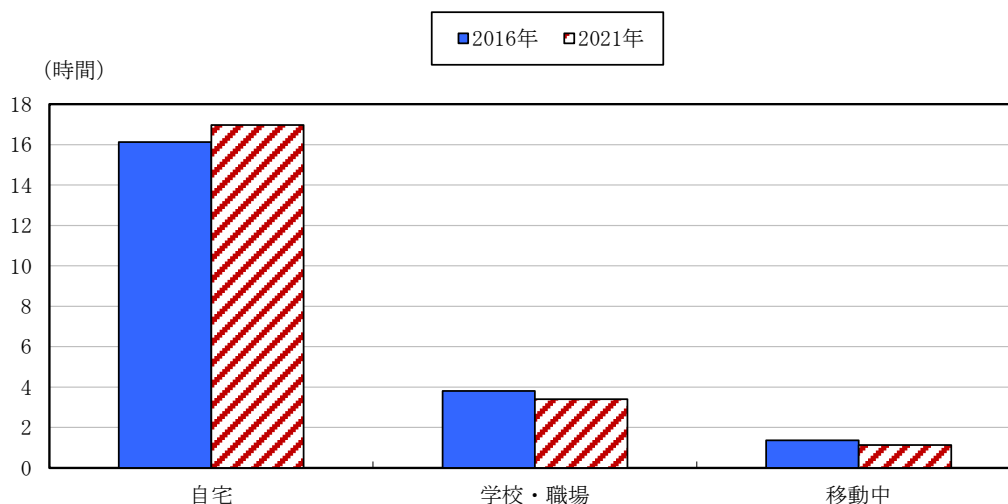
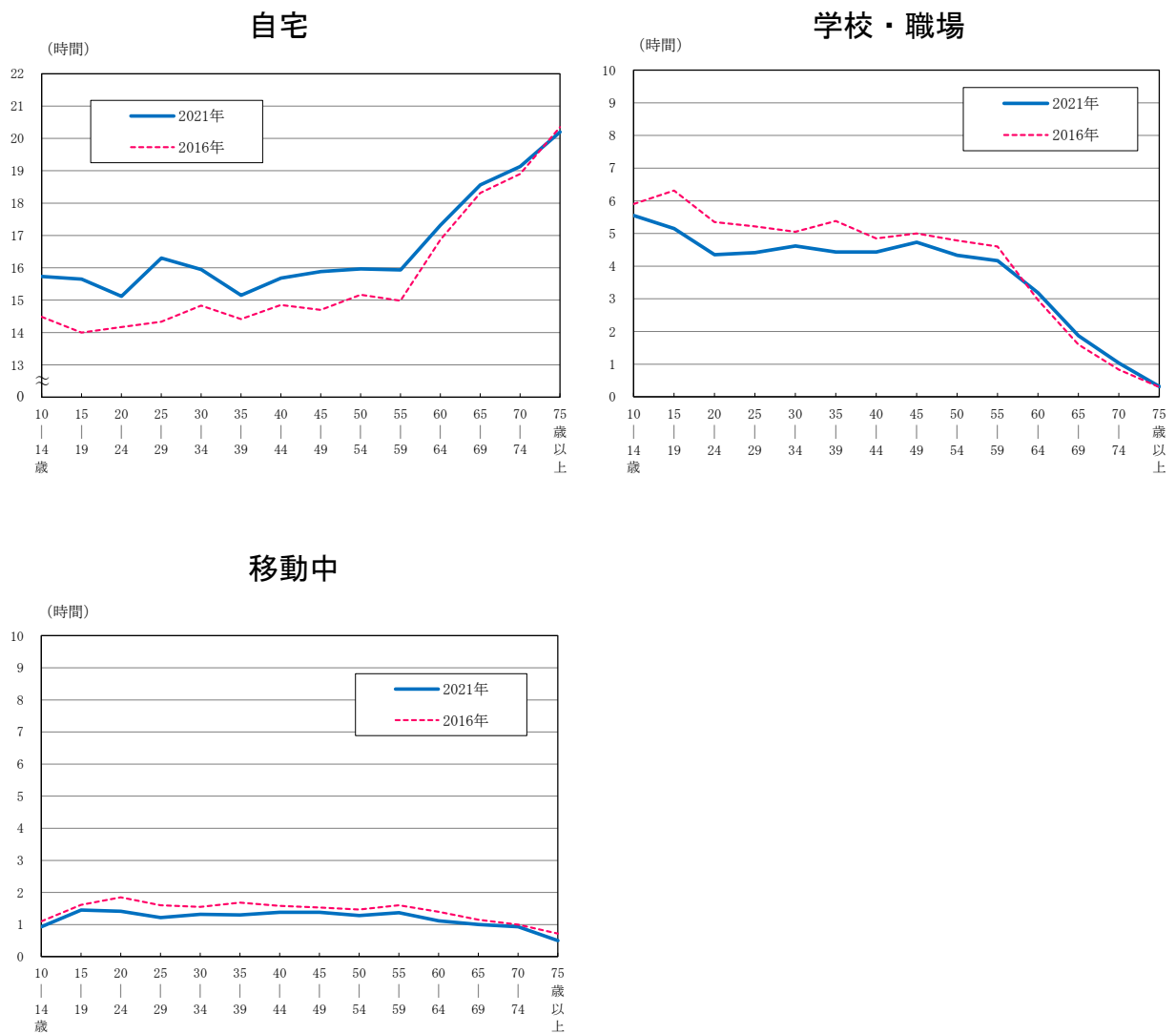


表5-1 年齢階級、行動の場所別生活時間(2016年、2021年)一週全体

	自宅			学校・職場			移動中		
	2016年 (時間.分)	2021年 (時間.分)	増減 (時間.分)	2016年 (時間.分)	2021年 (時間.分)	増減 (時間.分)	2016年 (時間.分)	2021年 (時間.分)	増減 (時間.分)
総数	16.08	16.58	0.50	3.48	3.24	-0.24	1.22	1.08	-0.14
10～14歳	14.29	15.44	1.15	5.54	5.33	-0.21	1.06	0.56	-0.10
15～19歳	14.00	15.39	1.39	6.19	5.09	-1.10	1.37	1.27	-0.10
20～24歳	14.10	15.07	0.97	5.21	4.21	-1.00	1.51	1.25	-0.26
25～29歳	14.20	16.18	1.98	5.13	4.25	-0.88	1.36	1.13	-0.23
30～34歳	14.50	15.57	1.07	5.03	4.37	-0.66	1.33	1.19	-0.14
35～39歳	14.25	15.09	0.84	5.23	4.26	-0.97	1.41	1.18	-0.23
40～44歳	14.51	15.41	0.90	4.51	4.26	-0.25	1.35	1.23	-0.12
45～49歳	14.42	15.53	1.11	5.00	4.44	-0.56	1.32	1.23	-0.09
50～54歳	15.10	15.58	0.48	4.47	4.20	-0.27	1.28	1.17	-0.11
55～59歳	14.59	15.56	1.07	4.36	4.10	-0.26	1.36	1.22	-0.14
60～64歳	16.52	17.19	0.67	2.58	3.11	0.53	1.24	1.07	-0.17
65～69歳	18.19	18.34	0.15	1.36	1.52	0.16	1.09	1.00	-0.09
70～74歳	18.54	19.08	0.54	0.50	1.02	0.52	1.00	0.56	-0.04
75歳以上	20.21	20.12	-0.09	0.18	0.19	0.01	0.43	0.30	-0.13

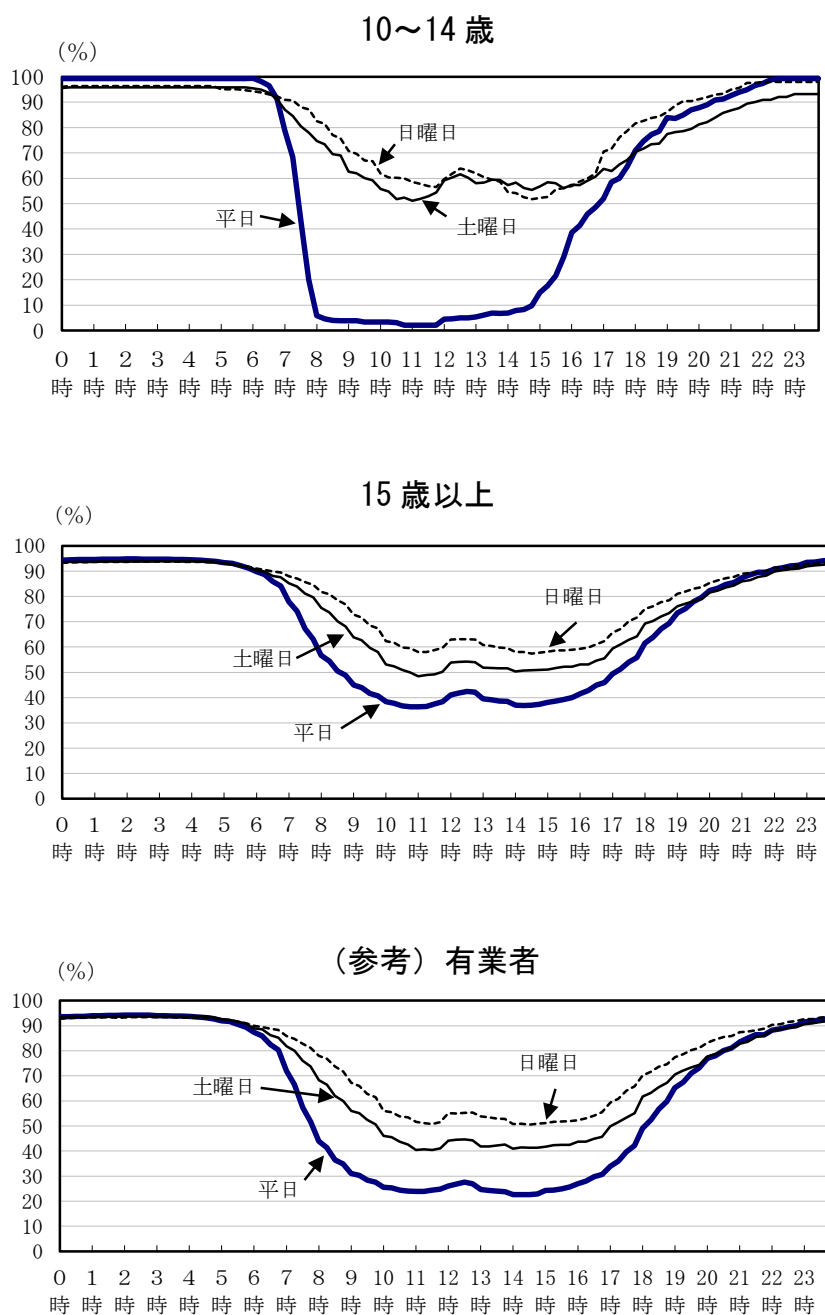
図5-2 年齢階級、行動の場所別生活時間（2016年、2021年）一週全体



(2) 土曜日、日曜日に自宅にいた 15 歳以上の人の割合は午前中の一部を除き全ての時間帯で5割を上回っている

平日に自宅にいた人の割合（行動者率）を年齢階級、時間帯別にみると、10～14歳は8時から15時までの間で1割を下回っているが、15歳以上は10時から12時まで及び13時から15時45分までを除く全ての時間帯で4割を上回っている。また、土曜日及び日曜日についてみると、10～14歳は全ての時間帯で5割を上回っており、15歳以上についても土曜日の10時45分から11時45分までを除く全ての時間帯で5割を上回っている。（図5-3）

図5-3 曜日、年齢階級、時間帯別自宅にいた行動者率



6 スマートフォン・パソコンなどの使用

(1) スマートフォン・パソコンなどの使用者率は25～34歳で85.9%と最も高く、平均使用時間も25～34歳で5時間47分と最も長い

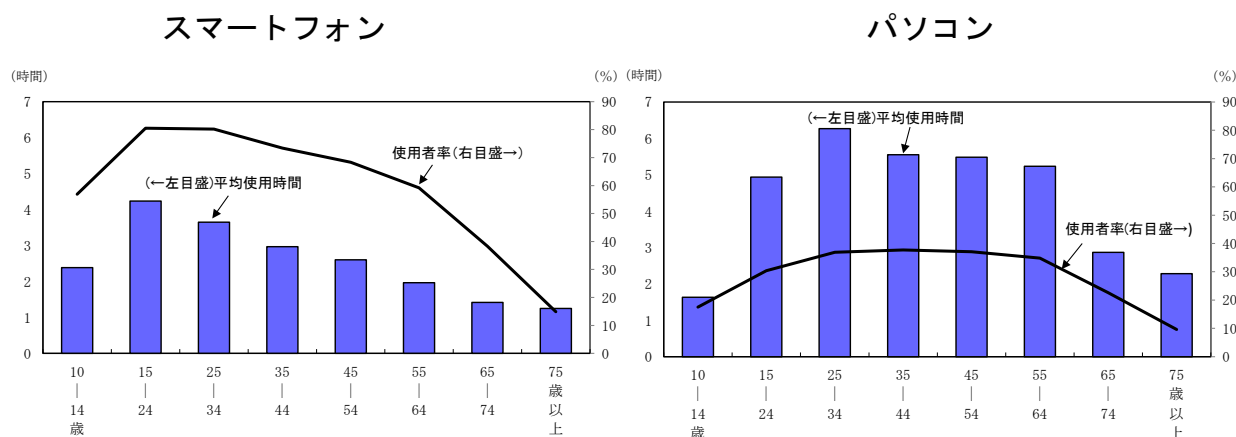
スマートフォン・パソコンなどを使用した人の割合（使用者率）は65.0%、行動者平均時間（平均使用時間）は4時間29分となっている。また、スマートフォンの使用・パソコンなどの使用別¹⁾にみると、スマートフォンの使用者率は57.6%、平均使用時間は2時間48分となっている。パソコンなどの使用者率は29.0%、平均使用時間は4時間56分となっている。

次に、年齢階級別に使用者率と平均使用時間をみると、スマートフォン・パソコンなどの使用者率は25～34歳で85.9%と最も高く、平均使用時間についても25～34歳で5時間47分と最も長くなっている。（表6-1、図6-1）

表6-1 年齢階級別スマートフォン・パソコンなどの使用者率及び平均使用時間
(2021年) 一週全体

	使用者率 (%)			平均使用時間 (時間.分)		
	スマートフォン・パソコンなどを使用した			スマートフォン・パソコンなどを使用した		
	スマートフォンを使用した	パソコンなどを使用した		スマートフォンを使用した	パソコンなどを使用した	
総数	65.0	57.6	29.0	4.29	2.48	4.56
10～14歳	66.2	56.9	17.5	2.26	2.23	1.38
15～24歳	83.5	80.5	30.4	5.30	4.14	4.56
25～34歳	85.9	80.2	36.9	5.47	3.39	6.16
35～44歳	78.1	73.4	37.7	5.11	2.58	5.33
45～54歳	77.5	68.3	37.1	4.43	2.36	5.29
55～64歳	69.5	59.2	34.8	4.13	1.58	5.14
65～74歳	48.9	38.3	22.6	2.22	1.25	2.52
75歳以上	20.6	14.9	9.6	1.53	1.15	2.17

図6-1 年齢階級別スマートフォン・パソコンなどの使用者率及び平均使用時間
(2021年) 一週全体



1) スマートフォン及びパソコンなどの使用は複数回答あり

(2) 「移動中」のスマートフォンの使用者率は 13.4%、パソコンなどの使用者率は 1.1%と使用者率に差

スマートフォン・パソコンなどの使用者率について、スマートフォンの使用・パソコンなどの使用、行動の場所別でみると、スマートフォンの使用、パソコンなどの使用共に「自宅」が最も高く、それぞれ 51.5%、18.5%となっている。なお、「移動中」の使用者率は、スマートフォンを使用した場合が 13.4%、パソコンなどを使用した場合が 1.1%となっている。
(表 6-2)

表 6-2 スマートフォン・パソコンなどの使用、行動の場所別使用者率
(2021 年) - 週全体

(%)

スマートフォン・パソコンなどを使用した										
総数	スマートフォンを使用した					パソコンなどを使用した				
	総数	自宅	学校・職場	移動中	その他	総数	自宅	学校・職場	移動中	その他
65.0	57.6	51.5	13.5	13.4	9.7	29.0	18.5	12.2	1.1	1.1

(3) スマートフォン・パソコンなどの使用者率は「自由時間」が最も高い

スマートフォン・パソコンなどの使用者率を行動の種類(大分類)別にみると、「自由時間」が 61.7%と最も高くなっている。また、「自由時間」におけるスマートフォン・パソコンなどの平均使用時間は 2 時間 49 分となっている。(表 6-3)

表 6-3 男女、行動の種類別スマートフォン・パソコンなどの使用者率及び平均使用時間 (2021 年) - 週全体

スマートフォン・パソコンなどを使用した行動の種類	使用者率 (%)			平均使用時間 (時間.分)		
	総数	男	女	総数	男	女
総数	65.0	66.8	63.3	4.29	5.06	3.51
有償労働	17.5	22.5	12.8	5.23	5.35	5.02
無償労働	8.5	5.4	11.5	0.51	0.58	0.48
家事	4.8	2.6	6.9	0.43	0.55	0.39
育児	1.0	0.4	1.5	0.44	1.17	0.37
買い物・サービスの利用	3.5	2.4	4.5	0.39	0.43	0.37
学業, 学習・自己啓発・訓練	4.1	4.2	4.0	2.33	2.50	2.19
個人的ケア	9.9	8.7	11.0	0.29	0.29	0.29
自由時間	61.7	62.6	60.7	2.49	3.03	2.36
交際	9.7	6.8	12.6	0.53	0.58	0.50
教養・趣味・娯楽	49.2	49.9	48.4	2.08	2.22	1.55
マスメディア利用	33.8	33.5	34.0	1.45	1.57	1.34
その他	1.2	1.1	1.2	1.04	1.16	0.49

付 録

付 1 令和 3 年社会生活基本調査の概要

1 調査の目的

社会生活基本調査は、1日の生活時間の配分及び1年間の自由時間における主な生活行動（「学習・自己啓発・訓練」、「ボランティア活動」、「スポーツ」、「趣味・娯楽」及び「旅行・行楽」）について調査し、国民の社会生活の実態を明らかにするための基礎資料を得ることを目的とするものである。

この調査は、昭和 51 年の第 1 回調査以来 5 年ごとに実施しており、今回の調査は 10 回目に当たる。

なお、平成 13 年調査からは、生活時間についての詳細な結果を得るために、「調査票 A」及び「調査票 B」の 2 種類の調査票を用いて調査している。

2 調査の法的根拠

社会生活基本調査は、統計法（平成 19 年法律第 53 号）に基づく基幹統計「社会生活基本統計」を作成するための統計調査（基幹統計調査）として、「社会生活基本調査規則」（昭和 56 年総理府令第 38 号）に基づいて実施した。

3 調査の範囲

(1) 調査の地域

平成 27 年国勢調査の調査区のうち、総務大臣の指定する 7,576 調査区において調査を行った。このうち、「調査票 A」を用いた調査区は 7,152 調査区、「調査票 B」を用いた調査区は 424 調査区である。

(2) 調査の対象

指定調査区の中から選定した約 9 万 1 千世帯に居住する、10 歳以上の世帯員約 19 万人を対象とした。このうち、今回の公表に係る集計対象は、「調査票 B」について回答した約 1 万人である。

ただし、次の者は調査の対象から除いた。

ア 外国の外交団、領事団（随員やその家族を含む。）

イ 外国軍隊の軍人、軍属とその家族

ウ 自衛隊の営舎内又は艦船内の居住者

エ 矯正施設（刑務所、少年刑務所、拘置所、少年院、少年鑑別所及び婦人補導院）の被収容者

オ 社会福祉施設に入所している人

カ 病院、療養所などに入院している人

キ 水上に住居のある人

4 調査の期日

調査は、令和3年10月20日現在で行った。

ただし、生活時間については、10月16日から10月24日までの9日間のうち、調査区ごとに指定した連続する2日間について調査した。

5 調査事項

以下の事項を調査した。

ただし、調査票Bについては、(3)のオ～ケ並びに(4)のオ及びコの事項を除く。

- (1) 全ての世帯員に関する事項
 - ア 世帯主との続柄
 - イ 出生の年月又は年齢
 - ウ 在学、卒業等教育又は保育の状況
- (2) 10歳未満の世帯員に関する事項
 - 育児支援の利用の状況
- (3) 10歳以上の世帯員に関する事項
 - ア 氏名
 - イ 男女の別
 - ウ 配偶の関係
 - エ ふだんの健康状態
 - オ 学習・研究活動の状況
 - カ ボランティア活動の状況
 - キ スポーツ活動の状況
 - ク 趣味・娯楽活動の状況
 - ケ 旅行・行楽の状況
 - コ 生活時間配分
- (4) 15歳以上の世帯員に関する事項
 - ア 慢性的な病気及び長期的な健康問題の状態
 - イ 日常生活への支障の程度
 - ウ 介護の状況
 - エ 就業状態
 - オ 就業希望の状況
 - カ 従業上の地位
 - キ 勤務形態
 - ク 年次有給休暇の取得日数
 - ケ 仕事の種類
 - コ 所属の企業全体の従業者数
 - サ ふだんの1週間の就業時間
 - シ 希望する1週間の就業時間

- ス 仕事からの年間収入
- (5) 世帯に関する事項
 - ア 世帯の種類
 - イ 10歳以上の世帯員数
 - ウ 10歳未満の世帯員数
 - エ 世帯の年間収入
 - オ 不在者の有無

6 集計の概要

<調査票Aに係る集計>

(1) 生活行動に関する結果

① 全国結果

ア 「学習・自己啓発・訓練」、「ボランティア活動」、「スポーツ」、「趣味・娯楽」及び「旅行・行楽」の調査項目ごとに、個人属性及び世帯属性別の行動者数、行動者率、平均行動日数（「旅行・行楽」を除く。）及び1日当たりの平均時間（「ボランティア活動」のみ）を集計した。

イ 基本的な個人属性について、それぞれの種目ごとに、行動の頻度、共にした人（一部の種目のみ）等別の行動者数及び行動者率を集計した。

② 地域別結果

全国結果に準じた内容について、全国、全国人口集中地区・以外、都道府県、都道府県人口集中地区・以外、14地域、11大都市圏・以外及び都市階級別に集計した。

(2) 生活時間に関する結果

① 全国結果

個人属性及び世帯属性別に、曜日、行動の種類別の総平均時間、行動者平均時間及び行動者率を集計した。

② 地域別結果

上記(1)の②に同じ

(3) 時間帯に関する結果

個人属性及び世帯属性別に、曜日、時間帯別の行動の種類別行動者率を集計した。主要結果については、全国のほかに、全国人口集中地区・以外、都道府県、都道府県人口集中地区・以外、11大都市圏・以外、3大都市圏・以外及び都市階級別に集計した。

(4) 平均時刻に関する結果

個人属性及び世帯属性、曜日別に起床、朝食開始、夕食開始、就寝、出勤、仕事からの帰宅の時刻別行動者数（構成比）、平均時刻及び行動者率を集計した。主要結果については、全国のほかに、都道府県及び3大都市圏・以外別に集計した。

<調査票Bに係る集計>

(1) 生活時間に関する結果

個人属性及び世帯属性別に、曜日、行動の種類（主行動、主行動・同時行動）別の総

平均時間、行動者平均時間及び行動者率を集計した。なお、集計は全国のみとした。

(2) 時間帯に関する結果

個人属性別に、曜日、時間帯別の行動の種類（主行動、主行動・同時行動）別行動者率を集計した。なお、集計は全国のみとした。

また、調査票A及び調査票Bに係る集計全てにおいて、表章する属性ごとの人口（分母となる推計数）及び標本数を集計した。

7 結果の公表

<調査票Aに係る集計>

令和4年8月31日公表

<調査票Bに係る集計>

令和4年12月14日公表

8 報告書の刊行

報告書は、次のとおり刊行する予定である。

<調査票Aに係る集計>

第1巻 生活時間編

第2巻 生活行動編

<調査票Bに係る集計>

第3巻 詳細行動分類による生活時間編

付2 用語と分類

1 行動の種類

1日の行動を時間帯（15分単位）別に調査（同時に2種類以上の行動をした場合は、主行動と同時行動それぞれについて調査）し、それを大分類6種類、中分類22種類、小分類90種類に分類した。

行動の種類の内容等については、別表「令和3年社会生活基本調査 詳細行動分類一覧」を参照されたい。

2 一緒にいた人

1日の行動に関し、時間帯（15分単位）別に一緒にいた人を次の区分で調査した。

「一緒にいた」とは、普通に会話ができる程度の距離にいる場合をいう。ただし、近くに知っている人が誰もいない場合や睡眠中は「一人で」としている。

- ・一人で
- ・父
- ・母
- ・子
- ・配偶者
- ・その他の家族
- ・学校・職場・その他の人

3 行動の場所

1日の行動に関し、時間帯（15分単位）別に行動した場所を、次の区分で調査した。

- ・自宅
- ・学校・職場
- ・移動中
- ・その他

4 スマートフォン・パソコンなどの使用

1日の行動に関し、時間帯（15分単位）別にスマートフォンの使用、パソコンなどの使用の有無をそれぞれ調査した。

5 平均時間

行動の種類別平均時間は、一人1日当たりの平均行動時間数で、次の種類がある。

- ・総平均……該当する種類の行動をしなかった人を含む全員についての平均
 - ・行動者平均……該当する種類の行動をした人のみについての平均
-
- ・曜日別平均……調査の曜日ごとに平均値を算出したもの。平日平均（月曜日～金曜日の平均値）、土曜日平均及び日曜日平均がある。
 - ・週全体平均……次の式により曜日別結果を平均して算出した。
$$\frac{(\text{月曜日平均} + \dots + \text{日曜日平均})}{7}$$

ただし、ある曜日に当該属性を持つ客体が存在しない場合は以下のとおり算出した。

- ・週全体の総平均時間

$$\frac{(5 \times \text{平日平均} + \text{土曜日平均} + \text{日曜日平均})}{7}$$

- ・週全体の行動者平均時間

$$\frac{(\text{月曜日平均} + \dots + \text{日曜日平均})^*}{7}$$

月曜日～日曜日の当該行動者のいる曜日数

*：当該行動者のいる曜日のみ。

6 行動者率

調査日に該当する種類の行動をした人の割合

$$\frac{\text{当該行動者数}}{\text{各属性の人口}} \times 100 (\%)$$

別 表

令和3年社会生活基本調査 詳細行動分類一覧

行動の種類の前に付与されている番号が1桁のものは大分類、2桁のものは中分類、3桁のものは小分類となっている。

行動の種類	内容等
1 有償労働	収入を目的とする仕事（物の生産及びサービスの提供）
11 主な仕事関連	本業及びそれに関連する行動
111 主な仕事	自宅に持ち帰って行った仕事も含む
112 主な仕事中の移動	運転業務者（タクシー、トラック、ピザの宅配等）の移動も含む
12 副業関連	副業及びそれに関連する行動
121 副業	自宅に持ち帰って行った仕事も含む
122 副業中の移動	運転業務者（タクシー、トラック、ピザの宅配等）の移動も含む
13 通勤	通勤に関連する行動
131 通勤	仕事場へ/からの移動（途中で寄り道をした場合は寄り道先から仕事場（仕事場から寄り道先）までを通勤とする）
14 その他の仕事関連	工作中（仕事と仕事の間）の休憩及び求職活動
141 工作中的の休憩	仕事の合間の休憩でほかに何もしていない状態
142 求職活動	求人広告を読む、就職試験、ハローワークで仕事を探す等
2 無償労働	収入を目的としない仕事（物の生産及びサービスの提供）
21 家事	本人又は家族のための物の生産及びサービスの提供
211 食事の管理	料理、食器洗い等
212 菓子作り	趣味として行っている場合は除く
213 園芸	趣味として行っている場合は除く
214 住まいの手入れ・整理	自宅の部屋の掃除、買った物の整理等
215 衣類等の手入れ	衣類の洗濯、アイロンがけ、ボタンの付け替え等
216 衣類等の作製	洋服を作る、編み物等 ※趣味として行っている場合は除く
217 建築・修繕	壁紙の張替え、家具や設備の組立て等 ※趣味として行っている場合は除く
218 乗り物の手入れ	自分で行う洗車、車のタイヤ交換等
219 世帯管理	家計簿の記入・入力等
21D 子供（乳幼児以外）の介護・看護	就学後から高校生以下の子供の介護・看護
21E 家族（子供以外）の介護・看護	高校生以上の家族の介護・看護
21F 子供（乳幼児以外）の身の回りの世話	就学後から高校生以下の子供の世話
21G 家族（子供以外）の身の回りの世話	高校生以上の家族の世話
21C その他の家事	自家消費のための家畜の世話、家の手伝い等
22 育児	親や兄姉が行う子供又は弟妹の世話や教育に関する行動
221 乳幼児の介護・看護	就学前の子供の介護・看護
222 乳幼児の身体の世話と監督	就学前の子供に食事を与える、公園で遊んでいるのを見守る等
223 乳幼児と遊ぶ	就学前の子供と遊ぶ、本を読んで聞かせる等
224 子供の付き添い等	高校生以下の子供の授業参観、習い事に付き添う等
225 子供（乳幼児以外）の教育	就学後から高校生以下の子供の勉強を見る等
226 子供の送迎移動	高校生以下の子供の送り迎え、保育園へ連れて行く等
227 子供（乳幼児以外）と遊ぶ	就学後から高校生以下の子供と遊ぶ等
23 買い物・サービスの利用	買い物及び外部から家事などのサービスを受けるための行動
231 買い物	通信販売やインターネットを利用した商品の注文等も含む
232 公的サービスの利用	住民票の交付を受ける、運転免許の更新等
233 商業的サービスの利用	クリーニング店、銀行の利用等
24 家事関連に伴う移動	家事、育児及び買い物・サービスの利用に関連した移動
241 家事関連に伴う移動	実家の母の介護に行く、小学生の子供の授業参観のために学校へ行く、買い物に行く等
25 ボランティア活動関連	無償（交通費など実費程度の支払いは有償とはみなさない）で、家族以外の者又は団体に奉仕すること及びそれに関連する行動
251 ボランティア活動	家族以外の世帯への手助けも含む
252 ボランティア活動に伴う移動	ボランティア活動を行うため公民館に行く、高齢者施設の慰問に行く等

行動の種類	内容等
3 学業、学習・自己啓発・訓練	学校で行う学業や自由時間に行う学業、学習・自己啓発・訓練
31 学業	小学校、中学校、高校、大学等での学校教育に関連する学業等
311 学校での授業・その他学校での行動	授業の科目ではないクラブ活動を除く
312 学校の宿題	学校の授業の予習・復習も含む
313 家庭教師による勉強、学習塾・予備校での勉強等	予備校等の宿題も含む
314 学校での学習（学業）中の休憩	授業等の合間の休憩でほかに何もしていない状態
315 通学	小学校、中学校、高校、大学等へ／からの移動、学習塾等へ／からの移動
32 学習・自己啓発・訓練（学業以外）	学業以外の学習・自己啓発・訓練
321 学習・自己啓発・訓練（学業以外）	仕事中の研修は除く
4 個人的ケア	生理的に必要な活動、身体のケア及び食事に関する行動
41 睡眠関連	睡眠と病臥に関する行動
411 睡眠	眠る前後に布団やベッドにいる状態も含む
412 うたたね	うとうとしている状態
413 療養	風邪のための療養等
42 身体的ケア	自分で又は他の人にしてもらう自分自身の身体のケアに関する行動
421 受診	病気での治療、健康診断等
422 入浴（自分自身や家族等が行うもの）	シャワー、銭湯、サウナ等も含む
423 身の回りの用事（自分自身や家族等が行うもの）	洗顔、トイレ等
424 身の回りの用事（個人サービスの利用）	美容院での散髪、エステ等
425 療養のための世話（自分自身や家族等が行うもの）	傷の手当て、血圧の測定等
43 食事	飲食に関する行動
431 朝食	午前4時以降午前11時前に開始する食事
432 昼食	午前11時以降午後4時前に開始する食事
433 夕食	午後4時以降午後12時前に開始する食事
434 夜食	午前0時以降午前4時前に開始する食事
435 軽飲食	おやつを食べる、コーヒードリンク等
5 自由時間	1～4及び6以外の各人が自由に使える時間における行動
51 社会参加・宗教活動	社会参加活動及び礼拝・読経に関する行動
511 社会参加活動	選挙の投票、政治活動に参加等
512 礼拝・読経	神社・寺院での参拝、朝のおつとめ、墓参り等
52 交際	人との交流、付き合いを目的とした行動
521 冠婚葬祭	結婚披露宴に出席、法事等
522 人と会って行う交際・付き合い	知人と会話、送別会に出席等
523 家族とのコミュニケーション	母とおしゃべり、夫と電話、妻にメール、母に手紙を書く等
524 電話による交際・付き合い	友人との電話 ※家族との電話、仕事での電話等を除く
525 電子メール等による交際・付き合い	メールのチェック、インターネットでチャットをする等
526 手紙等による交際・付き合い	ファックスも含む
53 教養・趣味・娯楽	教養、趣味及び娯楽に関する行動
531 教養・娯楽	映画館で映画を見る、遊園地で乗り物に乗る等
532 創作	歌を歌う、子供をビデオに撮る、小説を書く等
533 趣味としての菓子作り	アップルパイを焼く、プリンを作る等
534 成果物を得る趣味・娯楽	ぶどう狩り、きのこ狩り、栗拾い等
535 趣味としての園芸	ガーデニング等
536 ペットの世話	餌をやる、グルーミング等
537 犬の散歩等	犬を散歩させる、犬をフリスビーで遊ばせる等 ※犬以外のペットも含む
538 趣味としての衣類等の作製	パッチワークをする等
539 趣味	記念切手を集める、模型製作等
53D コンピュータの使用	コンピュータの組立・修理、趣味としてスマートフォンを使った情報検索等を含み、コンピュータの使用であっても電子メールに作成など他の分類に属するものを除く
53A ゲーム	スマートフォン・家庭用ゲーム機によるゲーム、将棋等 ※人形やおもちゃで遊ぶ場合も含む
53B ドライブ	趣味での車の運転、ツーリング等
53C 他に分類されない趣味・娯楽	旅行や行楽（内容が分からない場合）等

行動の種類	内容等
5 自由時間（続き）	1～4及び6以外の各人が自由に使える時間における行動
54 スポーツ	体を動かすことを目的に運動すること
541 エアロビクス系スポーツ	体操、散歩等
542 球技	サッカー、ゴルフ等
543 ウォーター系スポーツ	ウインドサーフィン、ダイビング等
544 成果物を得るスポーツ	釣り、狩猟（いのししを捕る）等
545 他に分類されないスポーツ	スポーツに関連した行動（体操が始まるのを待った、スポーツ器具の組立・修理等）も含む
55 マスメディア利用	他に分類されないマスメディアを利用した行動
551 読書	宿題の読書等は除く
552 新聞・雑誌	日刊、週刊、月刊、季刊の刊行物等を読む、マンガを読む
553 テレビ	テレビから録画したビデオ・DVDを見る場合は除く
554 ビデオ・DVD	有料配信のコンテンツをテレビで見る、動画共有サイトで動画を視聴する場合も含む
555 ラジオ	ラジオで音楽、ニュース、時事解説等を聞く
556 CD・音声ファイル	音楽CDを聞く、スマートフォンで音楽を聞く等
56 休養・くつろぎ	何もしない、物思いにふける、リラックスする、休養する等
561 休養・くつろぎ	ぼんやりしていた等でほかに何もしていない状態
6 その他	他に分類されない移動、社会生活基本調査に関する行動及びいずれの分類区分にも分類されない行動
61 移動	他のいずれの項目にも含まれない移動
611 家事的趣味に伴う移動	家庭菜園へ行く、ペットの診察を受けに獣医師のところへ行く等
612 その他の移動	釣りに行く、ピアノ教室へ行く、出張先への移動、食事をしに行く等
62 調査・その他	社会生活基本調査に関する行動及びいずれの分類区分にも分類されない行動
621 社会生活基本調査に関連する行動	調査票の記入（オンライン回答を含む）、調査員に連絡する、子供が調査票に記入するのを手伝う等
622 他に分類されない行動	他のいずれの小分類にも含まれない行動（移動を除く）
(再掲)	
7 無償労働（国際比較）	国際的にみて無償労働と捉える行動分類をまとめたもの ※趣味的な家事も含む

(内容に関する問合せ先)



統計調査部 国勢統計課 労働力人口統計室 審査発表第三係

総務省統計局

〒162-8668 東京都新宿区若松町19番1号

TEL : 03-5273-1163 (直通)

Eメール : L-shinsa3@soumu.go.jp

ホームページ

<https://www.stat.go.jp/data/shakai/2021/index.html>

※この冊子は、上記の URL からダウンロードできます。

社会生活基本調査

検索



「政府統計の総合窓口 (e-Stat)」(<https://www.e-stat.go.jp/>)でも統計データ等の各種情報が御覧いただけます。本冊子に掲載されたデータを引用・転載する場合には、出典 (例: 総務省統計局「令和3年社会生活基本調査結果」) の表記をお願いします。